

ま え が き

ここに、平成 27 年版宮城県統計年鑑を刊行いたします。

この年鑑は、明治 18 年に「宮城県統計書」として刊行され、昭和 24 年から「宮城県統計総覧」、昭和 53 年から「宮城県統計年鑑」と改題しながら、120 余年の長い歴史を持つ総合統計書として、本県の人口、社会、経済、教育、文化など、各分野にわたる基本的な統計資料を幅広く収録し、本県の現状と推移を明らかにしたものです。

我が国を取り巻く経済情勢の変化、地球規模での環境問題、少子・高齢化の一層の進展などにより、社会全体が大きく変容しております。

一方、宮城県においては、平成 23 年に発生した東日本大震災から 5 年が経過し、平成 27 年度は、宮城県震災復興計画に掲げた「再生期」の 2 年目であり、単なる「復旧」ととどまらない抜本的な「再構築」を進め、「創造的な復興」を具現化していく大変重要な時期でありました。

平成 28 年は、国が定める集中復興期間が 3 月に終了し、4 月から復興・創生期間に入ります。また、宮城県震災復興計画の折り返し点を迎えます。これまでの復旧・復興の道のりは、決して平坦なものではありませんでしたが、震災からの復興に向けた取組は、一つ一つ成果が着実に実を結んできており、平成 28 年もその歩みを前に進めていくこととなります。

このような状況の中、現状を的確に把握することにより将来を予測し、適切な政策や企業経営を行うためには、各種の統計調査が必要不可欠であり、統計の果たす役割はますます重要なものとなっております。

県といたしましては、統計は「県民の共有財産」という視点で、各種の統計調査に取り組み、統計年鑑として取りまとめておりますので、経済活動や教育・学術研究など、県民の皆様の情報基盤として広く御活用いただければ幸いと存じます。

結びに、本書の刊行に当たりまして、貴重な資料を御提供いただきました各機関及び関係者の皆様に、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層の御協力を賜りますようお願いいたします。

平成 28 年 3 月

宮城県知事 村 井 嘉 浩